

各位

2013年4月11日

KNT-CTホールディングス株式会社  
総務部（広報） 担当：仲  
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成25年2月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事、KNTアジア、の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比139.0%、学生団体も同169.4%と前年を大きく上回った結果、団体旅行合計で同143.4%と前年を大幅に上回った。企画旅行については、前年比91.2%と前年を下回った。個人旅行については、前年比96.7%であった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比101.1%と前年を上回る結果となった。

国内旅行の取り扱い、一般団体が前年比106.5%、学生団体が同95.3%、団体旅行合計で前年比100.2%となり、ほぼ前年どおりであった。企画旅行については前年比96.4%と僅かに下回った。個人旅行については、前年比88.4%であった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比95.7%と前年を僅かに下回る結果となった。

外国人旅行は中国方面からの訪日旅行者の減少傾向は継続しているものの、MICE関連団体の取扱い増加などにより前年比118.5%と大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の2月の総取扱額は前年比99.1%と、前年とほぼ同水準であった。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は多くの視察・研修や招待旅行の需要を取り込み、前年比139.7%と前年を大きく上回った。学生団体は、同169.4%と前年から大きく伸長した。

国内団体については、一般団体は前年比106.8%と前年を上回ったが、学生団体は修学旅行以外の学生団体減少により95.3%と前年を下回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱人数で前年比114.8%と前年を大きく上回り、取扱額も前年比104.1%と前年を上回った。方面別取扱人数の状況では、東北、首都圏方面などが前年を大きく上回ったほか、伊勢志摩、関東方面などが好調である。

ホリデイは、販売割合が高いアジア方面が全般的に不調であり、取扱人数、取扱額とも前年を大きく下回った。特に中国方面については引き続き低迷している。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、中南米方面のSITや欧州方面を中心として好調に推移し、前年を上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は全体的に売上が鈍化したものの、取扱額前年比は99.2%と前年を若干下回った。

バス旅行部門は、申込みのピークとなる昨年12月上旬に笹子トンネル事故の影響を受けたことや、2月の主軸となる河津桜の開花が遅れたことなどの影響もあり、前年を下回る結果であった。

以上